敵三ケ團を殱波

羽 鳥部隊破竹の勢

**順榮部隊の一部** 

張庄を占據

平原ご禹城の中間

健西方高地で

抵抗をなしてゐるが、同地の

で乗ってくか前九時勇獲○○根源・様に親してゐる 「〇〇十四日刊翌」十四日午前我・連転職により走却中の軽け養感的に、数いたわが昭兵機地は出足を 「東京を高線に追却中の経の命殿」保護により走却中の軽け養感的に、数いたわが昭兵機地は出足を 「日本では、一

けふ發令さる

彰徳を爆撃

我荒嚣部隊勇躍出發

しわが福業部隊の進撃を自利に導き、又京演線においては昨十三日の順徳、官莊、邢台の爆撃に引續き批鄲、磯州線で敵殲滅の意氣物凄く、即ち津浦線においては午後二、三回に亘り平原、禹城などの敵裝甲車、軍用列車を爆撃はその中機を爆撃し敵に多大の恐怖を與へてゐるが、十四日我が空軍の爆撃は津浦、京漢、山西及正太鐵道の四 《彰徳の市中央部及び停車場、軍用裝甲列車を破壊し懸倒的に優勢な地上部隊の猪木、神田兩部隊と呼應し今や

北支全線に宣る大爆撃

空軍の燦たる威力

地上部隊ご呼應大活躍

れない経期かた生気が置ってゐる。和氣體やとして戦機の後とは原は

高級教養學 「養華四月四日」素量の快速 村崎部隊南進

蒙古軍

八城

歸綏西方に

日午終六時四十分題化域に入城し

第一子も午後七時十分

の大事を配迫しつゝある我が柏崎(新集十四日同盟)南へ南へと配

一の入機を心から歌迎し、戸毎に

皇軍を歡迎歸綏兩城民

部隊は、入城後島もつからず疾戦。北京船站上に開化機の整門を占領したわが快速。北京船站上に西方〇〇万面に

歸化城に昨夕

皇國臣民ノ普詞

輝しき御使命を果させられ

秩父宫兩殿

したなり単葉の上、手に手にの御妻にてAデッキに御出まの絶妻にてAデッキに御出ま

微频司令 長官、华井 知事、

「東京電話 御名代名何如嗣

に御黍内、大寒にて
・天を四時半御織ひにて、

北阿に向ふ

ア国クセン・我等温度反民へ互三信を協力シ以テ備結 ア宮藤センア宮藤田三民ハ 窓宮殿橋力ラ史 ヒ以テ阜

成杉はその変われた

国際・国人国

官制公布 蘇州驛爆擊

田中財産下の海軍航空隊の鹿は路

# 要求を認識すべ イギリス自由黨々首

はすることはかりにも

主張

だと脱き、最後に第三

これらの申出を拒絶するならば、州税出記を繋げて支那の無漢の民子の時とて我々は日本を「別離」、教はこのやうに

柳郷 「柳苑朝」 と仰田さる

朝明色、泉道清神の う、 郷土戦らざるだ

は不可能と係つ

本支持を表明

マ教皇廳

極東全カトリツク教團體に

言のは重要指令を發す

る。つまり、その、解らないんだ。 それに拘らず未関の物能性が失

のから、特時代の道物は博物館にで いからなる 育職隊と同志討ち しれを図合識もある。 į

六頁朝刊八頁 想

マルゼン

> 同轉国滑・體故優美 SA型 元献 Y 16.00 ▲型 ## ¥ 6.50 B型 :淋式 ¥ 4.50

AND MARKED AND MARKET

きのふ叉復

南京を空

ーフアィル



明朗な生活にはいつも

べ:先は正十四金 ¥ 2.00以上 前内は御申助け大衛巻上各種御覧に入れます

は日曜任 は日曜任 は日本明治氏(野銭頭取)十四日 を刊文店開設挟歩の貸「のマ で新漢州へ

地支黄

アテナが同伴者

MARUZEM · MARUZEM · MARUZEM · MAI ZEM·MARBZEM·MARBZEM·MARCZIM·MARGZEM·MARBZEM·MARBZEM

たり、但し第三國の介入による との要則に對して大使は

『軽直に答へ、多大の窓

丸善特製 カーボン

摂日数者と採日運動が止まれば日

人とよき関係にあり

てなる 我々に之が反

で大使は質問に感じたがに求めてゐるのだと精ん

- 姚和を希望するや

色彩鮮麗 耐久著大 寫字印字共に明美 **駅配用** | タイプライター用各権 --見本景志-

本が 国の下沙に国連の解決を反解なら を対し、という。 でのは、 ないと語り、安備问题物源のでは とだけ、ないと語り、安備问题物源員の道 ないと語り、安備问题物源員の道

A 差級筆 / 芯の硬軟適切 運筆至て快調! 筆記用 複 寫 用 朱藍色

丸善株式會社京城支店 摄图口光的域三四四播 附紙本刷(2)代表六

町馬傳小・橋本日・京東 都被服場工來轉自口由

# 機の献納 海軍機敷機も飛來して

道民の赤誠に應ふ

版し日下駅が都能所配となって北 り同様の影響を働いたが、緊急つるや自動車連載手として影響を志 下げたのに味をしめ前後四回に互 支谷地の穀場に活躍、半島青年の一きて元山暑に棺撃、目下取調中だ

全鮮大同社員の熱誠で献納

基金二萬圓を突破

尊い行の献金

麗しい銃後の結束

である。 は中一日成果地では、一日成果地である。 「「「大学」と、「大学」と この二日から全村二百月は各一月一つが何れもが美しき銃後の結束と

た又内執人子樂尚好者主催の同院
 大大二回八十八銭を同院総全とし、出て捕り大職」和に請めて十二日本、八十二回八十八銭を同院総全とし、出て捕り大職」和に請めて十二日本、八十二回八十八銭の方式を同院。
 大大四八十八銭を同院総会とし、出て捕り大職」和に請めて十二日本、八十二回八十八銭の方式を同院。

まる、日の黄岡日に空瀬を掘めて「勝歌金都集中十四日までに百四十二大郎」 公耳校一年生々徒一同は 【鳥山】 東國都人會では會員の園 分除へ同院報として密託した又大一するはず分除へ同院報として密託した又大一百四十二銭を大邱憲兵 | 五回像に達し近く取締めの上眺金

戦線から感謝狀 兵隊さんの母!へ

基を献納

未就學少女

廉州 都内閣南面では一級面屋 陽南の慰問袋 三百四十六個

開城の未亡人金瓊淑さん

邑當局へ手續依賴

| 「保護力を依頼した| 保護力を依頼した | 保護力を依頼した | 保護力を依頼した | 保護力を依頼した | 保護者をといる | 保護力を依頼した | 保護力を使用した | 保護力を依頼した | 保護力を使用した | 保護力を |

一型では、大きのでは、一直のでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、 原し、 施、こうらでドル形を のやうた歌書機を府小野歌見近に仕席者の家内工業見暫ひ女工の指 のやうた歌書機を府小野歌見近に来る。 大学一人の楽しで自分 | 月十五日付で遠く北支の野から大夫君と親一人子一人の楽しで自分 | 月十五日付で遠く北支の野から大

る五日郡に舎託したが都では九日一片見である開業商業三年生吉長朝

つてるたところまる九月開城に開

資に膨胀して一関の頭防禁 紅海県芝居に否託しく順天 **発子氏も関防戦金として** 

の所の愛園戦会は一千四百廿八

係官に駄々こねる

上砂流しの强者か

頼もしい半

全鮮にさきがけて

公用上等兵奇禍

町一丁貝顧島祭太郎(ま)は一ヶ月

【釜山】十四日午前一時頃新手の

「で七三歳ー 佐万雄の十字路で軍用電域を撤収

事件公判 通川の赤

不安のある方

頭がかゆくて、掻けば

が醫療的に最も効果的です!

に載ての一場の関示を貸したが、「基度勝乱で動せされた、一回戦利前全生徒の西珠彩観の後時局部議」を重念祭は十四日午前十一時から 

**禿頭やその他の毛髪障害の** 

髪が違く、黒く、強くなり、

**激刺とした魅力が若返つて來ます** 

不安が爽快に一捲される許りか

釜山大邱を

果を巧に欺む價質百數十周の指揮

頭を割り無殘死亡 厳操中の講教日英耳演者で 事件があり豆腐、純質開着で ットの干に上面の大金を盗ぎ

禁錮口ケ月日の輕い男

泥沼で手提

(集) 南部 十四日午前八時政府內 神音校前沿地域立工事現場の泥

**鞑捷奉告祭** 

学行さる。本政技者祭に井州邑が

髪を梳く度に、髪を洗ふ毎に

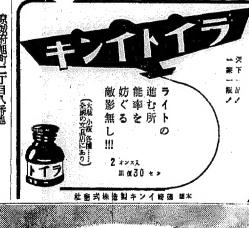
【江青】道の中華風袋を研究者は

習記念祭

群山の催し

糜井本社特派員

北支從軍講演會



一 総械な表情を現す

荒れ、生気がなかつた

大切な手が、秋の乾燥 した容気にカサくに

は云つて居ます。ソノ ……トー流の映画監督

ナスでナノ ら、貴女の魅力はマイ

電話本局②二四九八番 一次 の肌アレは多に向いてとど、アカギレの困です。 部所や、 まんべんなく伸して下 キレイに水分を拭きと





細いフケが練々出て不快だ

一時から定州海洞で執行する

色長水野良地氏の葬職は遺景観線

忠南の中等

の様な悩みには 髪に艶がなく、細く弱くなって 所々に地肌がすいて見える頭髪が一瞥にうすくなり

線にして情報の北支で繋がてある とてはと質線を指名的神道の未然 とではと質線を指名的神道の未然 との様数子紋は老は正典二百を質 を関係数子紋は老は正典二百を質

秋乙美面の

北支の天地に輝く

婦入連活動

皇軍の武威を讃ふ

明十七日神嘗祭を卜して

各地で祝賀旗行列

経解東支局の後援で九月三十日

全く鳴に運はぬが目に酷かれます!

たくましき男

整

容

Ġ

得帖

二十種 三十種、在十種、ビンセット、消撃成行

丹平面

有難さ!

#据化液#

明日兩日三十日二(18·30 4·20 0,20春の故見 三 

鎖まる

い歯痛が 一二滴

二。他都でも変物でも、

日を開発とする南京政府の勢力が

することを可能な限り整定したの一大きな必



ることないふまでもない、 横月







Ano 書家ランなくしてわて。 - は明るい日光と離らかな水で敷容は日常の身噌みです。家一四、健康と敷容に一番大能なも で用かるとよろしい。 た。水壁に同時を激響にそしてい。 なやかな整形と受しい悪をもたって にすればなりません。手軽に深い。

キケカワ

審查員の一人さして

短額な服装を棄てい自然な化粧を棄てい自 の一般の表別という

誰にでも容易に出來る方法

洗ひ流しがサッベリ 肌が流れる様な

機器のつよい館び 見れば誰方にも分ります

(5) 日活日活日活日活日活日 (5) 日 (6) 日活日活日活日活日活日 (7) 日 (7

金黄河金田田田

間日四年でま日七十一りよ日四十 領主子禮見北・吉浩田高 記 月 繁 侑 剣 スーユニ 綾 郡 斯 麦 日 朝 領主代光房水・東 智 至 し 棼 は げ 仰 政十生外小・銭十二郡未久の 開定の果効麻峡の した存入間にありよ中田日暮の **吉官 育信 京** 

※ ● マネキケ松 ●

表 開 時 囲三 回二 回一

「手前、行つて二本、長脇産を持 よン公は戦く脳を押さへながら 解ばかりして唐ねえで早く行 すらりと忠次郎が長い意を扱いにしゃがって、何でえ」 相手になってやるんだ」 がらにりと笑った、と、 「白ばッ(れやがるた。商定村の

だと?于爾佐の人とは何だ?

朝夕の一杯!

国民塞て始め

慰問

Ø

有難くれる 他人を干雨盛り

虚弱病源ノ

手削も空手か。心樹の思い似だの とに組まってゐる。下』 間は、獲物がねえから聞はねえ 忠次郎が歯をみむて繋なく

あげ、長脇草を扱いて痢を投げな

思次はここに今し方から來て待しけ、眼の珠を組えず動かしてゐた

伊三郎は落ち潜き排つてるる。

らお館ひだ、あいつは容易なられ

「そんた事宝ったつて忠文が来た一つてくるだらう、さらしたら、

げろだと……、あされた反だ

もう少し待で、よン公が獲物を持 何を云つても無駄だ、待ち序だ、

「卑怯も何もねる。 からなつては 「単弦をいったツ」

上州で五本の指に折られる男に

したつて贈られえじやあり

京城本町一丁目入口 智等女 坂 井

勉强中點問題

すゆどこの最后にもあり 大学と開発になった。 できまい 情快に ズンズンとできまい できまがい 調がい 長期月賦の店 明時

お衣裳に書書幅に

邦燥乳中の最優秀

後援・平壌飛行第六聯隊・通信局・日本航空職を株式會社 趣味の雑生性東京時好會 ーキー上映(第二ホールにて)數多取揃へ展觀致します。同時に航空に關する豆

現る 脳をお開けなさい。 思か

前く起ってみる

「あんなのは断らねえが、想み承

岩田寧太郎圖長谷川 伸作

石を睨んで、伊二郎は心りつ

差を抜きすうである。 伊二郎は冷

と、忠次郎強しく、

「罠だとる」 そんな物を他はかけ

蓄音器シコード フチオと楽器 品質提真で保存力に雷み遊かに豁外図品を凌駕する本

ら帝都まで僅か三時間半 で達します。一機質に三 くまで襲塞してるます。 のもあります。更に毒瓦 起車爆撃機はウラギオか は日頃の防空訓練こそ経 サキロの爆弾を積めるも 魔味すべき科學の力で斯 愛動機馬が…五一四倍 焼夷弾を思ふ時否々 二六〇五四倍 五一五八倍 四九九大倍 ----一四一倍 -----||三倍



味の素は――二〇〇〇倍 非常に經濟でありますから で、極少量で効果がある故 是非衝家庭にて御利用にを 味がわかるかを示せば に溶き、どれ程まで薄めて 調味を合理化すべきです

然し、その味の正體だけを 言ふ味は知つてるたでせら 恐らく大昔の人でも言いと



なかつたでせら、科學は迷 に、小麥大豆の蛋白質から

取り出せるとは誰も相像し

の今日は、それに比して

概です、僅か三十餘年後

於て三秒半飛んだライト

は、明治三十六年米國に 飛行機が始めて飛んだの

今、强大な味の素の調味味の素を完成しました。 ごを抽出し、結晶せしめた 强大な味の素の調味力

在 周 年 日 配合式器 经未完成 多用商名內包

比較するのに、「同一量の水

Ž,

他の調味料砂糖・塩と







有的集色表现的信息 意注名品似物气 耐富式脒莱契堂善慈 モ \* \*

最长四九一排京藝術 — 目下三路建城市

### 2 - 1 -

オイお婆さんや、此方へ來ねえ、がら、腫しからざるお婆さんだ、

献五郎は乞女婆さんに同情をし え、いくらわしが製切だつて、 まで来ながら日光へ行かねえて、

て、いろ(一身の上を言いて見ま」なんて、そんな手はねえよ」 子、お話自すらお落しうこと、 やしねえ、今夜大和屋へ借って去て、お話自すらお落しうこと、 動「アッ・ツハ、膨を、それやアと、 こんな後さんを選れて江戸へ踊る

んた思い奴は、少しも早くお召捕してお母さん、ゆきませる」 可解鮮汽船出 帆廣告 とけてもらふことにしょう、……

THE CHAIN

て、只今では天下のおきね者、あ

ますが作は、温い水をいたしまし ます、お話申すらお楽しうごさい

方の狙場

神田伯治演

糜井耕建品

おえか、着さんがあらいふばかりかれるか、着さんがあらいふばかりかい 後「イナさらでごないますか、簡

でもつて、お茶代の價値はあるだ 打難らびじます」 た、それであれの那ら隣びませら

(マア語い中を取して下さいま

前だ、女郎にするとすかつとな、 焼さんけ調ながらに、 焼きんけ調ながらに、 動しどうしてお出さんは、なん

樹「新の女郎といふのがあるもの。御作和の通りの女郎歴で、戦に進 水茶州の新にやす勿體ねえ」 「娘「娘の鬼へ捨ひに達りず」と成

○「お手件に側面的機でころいま」分割で打ち打機でそれからとうやいま

六十の坂を二ツ三ツ、越路の部|モウ江戸にも居られなくなり、 の小山に傍気がございますから、

を頂いて自要頭のお婆さんの見れ

んなさい、一脳り纏ってお出でな「事もならず、を食となつてをり

川正米市況 花の買方は主にそれを

□ 「新さん、和何感心だだ。同じ、れちやす明らんがお願さんの所在。」 といっています 別っていく それは可見表に、まといっています。 別っていく それは可見表に、まさい。

段をやるんでも、エ、光虹えなど。を探してあるから、私が江戸へ行

7、氟の液だ、お驚ひだと云ひな「反「オ」、冗談いつちゃていけれの落さんは毎日來名に導えねえ、「戸へ歸つてくんねえ」 で上げるから、無日と云へば、今「お前この独さんを連れて、先へ」一題り廻つてお出でたさい上、後「むえげれども、日光見物を上し 云つてやるのと、御客があるから | くやうにしてやるから、風ですよ

いところを日光見物に來て、こゝ

仏が上げるから

れから人を献んで、江戸へ巻りた

ます、私はど因果の者はございま は宜いと、そればかり整へてむり にたって、御鷹刑にたって祭れる

と一位一什を選挙らに語りまし

衛町に頂けてあること、又位著次 と、高窓を身受して京橋近郎兵

勘「乃公はお削さんを探してゐた」 たが、これが、高地工夫の親の母

者で、實は是々云々」

んだ、乃公は伊賀原航五郎といふ

\*110

郎は師匠の難で財取ったと云ふ話



牛島産業の擴充計畫

政府の方針に順應して立案準備

型】上市北部戦争金級に亘って約八時間線の開戦が

支那の敗戰ぶり

特派員の通信

敵の逆襲を撃退す

上大將北支へ 十五日回盟

数し大利ホテルに一直 庄夫特は十四日三後



各地震店上了照過十

亘るわが空軍の猛烈な爆撃により敵は大混亂に陥りわが○○部隊は轍々たる山西の山地を南へ南へと

贈登部隊

京漢戦線の戦况



山陸相から謝電

**淮**进出 ※川川県市城は十四日正十五日同盟」取司会部生 部は十四日午後四時

樂部隊

强壯·强心疲勞恢復に

◎諸機能殊にホルモン機能を旺盛にし、食慾を増進し、荣養を補給し、 活力を増大し、速に疲勞を癒し、氣分を爽快にす。

スポーツ、旅行、蚰蜒、軌機等等の痕勢、直後病後の最適益恢復。 心臟病、船車量、二日群に發効を奏す。 30翰人 ¥ 0.50 50翰入 ¥ 0.75 100翰凡 ¥ 1.30

中社 22 (日 ラヂウム製薬株式合社 1000 pg・台の・カス





に施行する

たる火型を乗し

說

**本社受付の愛國風景** 

夕刊後の市况

**十月十二日取** 

(使用頭 24,24,4715,1215)

打込めない。

片手間の仕事には魂が

どんなにいっか、使つて ある専門會社の園店が 真剣にその道を進んで

|磨寒門の會社で出來る

戴けば、すぐわかる。

• 澗製 • 粉製

出所 原東桁貨金町二丁目一九九 (物 取 三 附) 不研及本局(2)1586番 出出所及名(2)2965番

間易酸素發生器附屬

大型 (元/kg)十八間 大型 (十/kg)十八間 大型 (十/kg)十八間 大型 十五個 大型 十五個 大型 十五個 大型 十五個



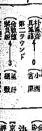


限及呼吸 ルキサイト性) | 合して要作せるものにて目下原作中に付債的は前期をそとように要信されて、サイト | 大浦ベンベルケに要信さばの確認。イベ・リット





















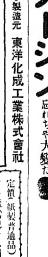












化理化學研究所發明

商登

樣

一發賣元

電 いっぱい では 様本を發生し得るものなり

斯の種類

がない。 がは、 がないで、 のないで、 のなで、 のなで、

仁商勝つ







**本町五丁目婦人** 

優秀國産品で0

三年成

結核治療



静脈用 皮下用 五管人 十七人

用と配伍薬の解熱、祛痰、鍼咳、食然亢進等の各作用と相俟て 結核、肋、腹膜炎治療上の完璧を期したり。





武田の家庭外傷藥

8も進んだ皮膚の衛生薬 さか配した最新の家庭豪です。 まか配した最新の家庭豪です。 焼み痒み止薬ルに、殺歯病薬薬さ、痛み痒み止薬が強さして鬱家の愛用するサキシー 社會各合這個機能

外國品ばかり

一億五千萬圓の節約

日本女性の肩

やけ止めとしても重変です。 神縁人方の 化粧下、肌の荒れ、日神縁人方の 化粧下、肌の荒れ、日で、 肌をとゝのへます。 という はますと、 殺菌消滅作用によつけますと、 殺菌消滅作用によっ はがいるとに 極くつ

店商衛兵長田武 整 可核素的双大 光寶裝造製

で爽かに時れます

曇後晴!

仕事や勉強でしたれて扱った頭も

1110年田發賣

B

# 石家莊占領を祝ふ

仁川】 塩重現史を概然と飾る石 | 行し、ますく (銃後の結束を問め) 見るべく、更に午後七時から男子 肘氏こぞつて仁川神社に発拜、 成の戦捷を報告し、更に皇軍の の歌』を高明しつよ旅行列を行ふっされることとなった 駆けて中華校本庭をふり出しに四

延長久、國政宣揚大新願景を執「はずで府はじまつて以來の盛僕を「

|整層運動に運進すること、なった||側は坂本氏の時局溝積容が公登堂 既に分れて國旗を手に手に「職様」と題する動能會が西本願寺で開催 しかして常日午後一時十萬府民を一又婦人側は某者教嫡属合種が削長

全仁川十萬府民をあげて あす歡喜の旗行列 郡内を通じて十七萬本の胡桃苗を 【忠州】郡守全温冰氏は昭和八年 で直線をつくり更に防宛チョッキ 作製して北支京軍へ明ることし 非常な出来祭であったがこの政権 忠州の胡桃 植栽成功

報國の誓ひ 〔以上水盃一種〕 小松 関があり、 茶頭らしい成功として 商見小権(以一今後を大いに揶揄されてゐる

派州」非常時間に脱食し女子な一番間を行った 概然立つて就後國民としての 清州高女ご佛教 兩愛國團體發團式

農女郎では十四日午後一時半から | 発行した 会を関于女職並に所州佛教堂國 く設立された渋州 【忠州】郡内各官公署及び墨楼で は十二日一本に戊申留け郷間文を

つて大野本部長より山田高女愛

女所及、尾佛教學國處女職長

北鮮を潤す黄金三百萬圓

日鐵清津工場の用地買收

愈よ今月中に着手

代表となって御歌旨を奉養

全家庭芸化してある前橋が今年既に黄を精んだ 後でなければ精質しないといはれ

瞬の十四日午後一時から城大總長一をつけたもので其名の京で如く内一

1二日午前九時から戊申朝春養姜(行つた 1二日午前九時から戊申朝春養姜(行つた 【水原】色内各層校子官公署では から過社物前で官民多数学列権に「配式業務式を整行した

清州」高等女器校では整理の質

皇軍へ贈る

防寒チョツキ

木盃 (担)

復習をかねて本秋夏一枚を帰

【清州】郡當局では十四日午後五 特州郡邑而長會議

作に伴ふ情況院教の黄海、漆騒政 議を開催したが附属事項は解数量 時から邪魔食職軍で管内員面長會

身ともいふべき要単隣の既合工事 は最近の要単微なその他について

つた京城帝國大馬福墨研究所の前

た、なほ式後同研究所長戸次技手 行し鉄爾禅に同三時半柱了数

|開城||府外京都道立題用機物部||の他有志義和のもとに地域県を

廳舍地鎭祭を執行

四月二十枚を生産する豫定で、こ てよるるが今年度は数用収七萬六 **す八月二十枚と肥松以十二萬三千** 九競二十銭の多額に上り、大に れを関係に換算すれば二萬五千九

特

許

Ø

滋 菱 Ħ

# 八邱に誇る名木 『なんぢやもんぢや』を通じて 尚議で大邱を紹介

商工資餚所でこれが質問に乗り出 する目的から近くこれが由緒を替 水戸費門が諸國派遊の折に後見い すこととなった。即ち同本は占く るととなった いた小冊子を作成、全隣に配布す

木名の判ら政所から右の知さ名稱

店員實務講習

| | 「表面|| 都では國民物神秘和良陽 代別松原は土をはじめ地元からは 地では『野・荷・佐かに敷木しかな』 [開発] 所及び商工省後の政・大大田 (関発) 所及び商工分議所主催で 止に旱天の慈雨

んちずもんちず』については大邱一同木の京原により洗く大邱を紹介 大邱・大邱神社境内の名木でな一ある所はないので商工会論所では、紫墨良の御校長、乗松、松本、李 予数線を端師とし、來る二十日か

咸興競馬好成績に幕

門に比すれば殆ど倍極に近い好政 当六十四の安上げ高を示した。 の六日間に十九萬二十四、秋の 七百四十四、合計三十一萬一千一來資業列種に最大な上旗式 日間は十日の打止めで十六萬一

清州高女講堂 近く竣工祝賀

時間味を繰り込んだ音樂と影響を は謝堂落成を脱ふ意味で来る二十 は近く数工のはずであるが同校で手により建築中の高等女単校群像 【消州】工費一萬條四で益田組の 日午後六時中から香筋い隣盆で

水原の大掃除

○ 1986年 ○

産前産後の人

朝き

華麗森、十二日附任

●清野犬雄氏(京畿道養務副外本

虚調體質の人

天 同 阿上

**以織り奨勵** 正式、関写等の質粉膜

銃後の花

inikoit

〇九四線 现多征航一牌月寄店〇大坂行

1919年,张山上盟門上神戸新港 海疫提入日納南州三日に明二月 東京之一機直浦美工仁川大山

江 九 一 西山七 は 木部元 1

た資盤二十四旬七十段を開防

**建筑式は去る十三日江柳橋洋町以** 【江韓】 色内は東里塚平小戦人会 永问】 都內上村面弓村里表稿

ら十日間が原刊年台前で夜間低身一個の敷約方を依頼した

## 嬉しい見當外れ 馬券頭上げ皮算用の殆ど倍

【或典】創設第一年の威廉競馬は、地村組の手で軽乗工事中で

人 の

結核體質の人

大野政務總監 シネマと探劇

事の養養で萬歳を三唱し、同四時

てゐるがさらに今回防疫物部を
を設置して使入脈止に大意となっ

**戦捷奉告祭** 

ら形臓をはじめ部内を育公衛一系 潤されるのでこれが関抗で連行と「鷹州」 決つ十三日午前八時中か 「振光」 たんのでこれが関抗で連行と

に得りまって、日本ののでは、 ののでは、 のでは、 のでは、

早速屠殺して燒く

各地の奉設式

【開城】開屋那般事保では施設の

開機郡の催し

東内に乗り込ませ、現在地上り乗」「済州」とでは十四日午南九時か「根郷、高居城界、島居原足の整町

満州も執行

方、各書祭養所在地に樹袋開金班」と院孫の萬全を期するととなった

要地住民に確防注射を施行する一 北脊炎部では虹る緊張し近内を主も知れず関境の臓所をあつかる平

臨時が肖を行ひ院投稿の擴大強化 た道衛忠説では近く職員四十名のこと、し十二日から實施した、ま (1)がありついで大野本郎長上り の御職日奉讃、分會長の式前(代

食具へ有功量並に示原表形状

**郑日腈本校里、三川分會長代理** 御寓真の変を振した後國歌合唱 帯があつて以居瀬井、陳数宮場

分から満州神社科殿前で駆行

G十二日午後七時から松夜面事務時局。講演會 【江郷】 表

教育三十萬坪である、ところでさ

て仮格はで蓋を開けて見ねと判然 は密初の八十五萬坪から増大して

|川港をめがけて

**教穀の大洪水** 

おまけに船腹さ貨車不足で

滞貨に悲鳴をあぐ

位双方に無理の行かの相場でざつ

坪平均二回内外とみられこれに

随極寒にもがく北鮮財衆を闘す時よると總額制立百萬圓の黄金が傘

まさに最天の熱雨である

晴れの總會開く

大野朝鮮本部長以下臨席し

會員に有功章授與

作野型関連支属の軽調式 (上)と原州高安建閣子支配及び、ス、地議調査の総一を使つて本月

部落の産米改旦狀況は左の各

【海州】柳瀬倉美蔵保では柴田四

百二十六町三反に二十萬本の桑田|可能となるわけである

克燥三〇點、調製二

肥培管理 桑苗植付ご

宮町1日、愛藤淅州分會の秘書 | 野及び同社三著間の便将際定も許

勇往源道することとなった

郷具共和東して非常時打開に向一降るのもいよく、間近くなった、

で記の間用地質收は表に本府、

あつて動歌を齊唱、同二時十一景第二

産業の町最低式の事を明ち

山田陶長の訓話、高女愛國子

**職業女配員代表院リンズ子さん並に側 【幕首】沈徳勝らた昭貴宗立氏目、今十九、「十の項目大衆国武派皇子を近の道り置代表院日ンズ子さん並に側 【幕首】沈徳勝らた『観光堂を記目、今十九、「十の項目大衆国武派皇** 

一般南を除く)九十四ヶ町の農村出席者 管内更生影響(催北、

三十四、三等向十五回 西磯は海面貝で反方地で四百官の三十四、三等向十五回 一面磯は海面貝で反方地で四百官での第金五十四、標準版、二等向 から十三日までを第一回として商等を金孔十四、電等版、二等の から十三日までを第一回として商

面徴貨機動員で反称権間四百官の

十三日から村十日間に耳り奏雕す 施肥を存職、更に第二回は来る二

副長が臨席、企会事外官民有

戦慄の虎疫豫防に

特務班を編成

國境通過の南行車に乗車させ

乘客を嚴重に査察

の告訴、本野會長(三橋本部副

代費)並に支那顧問金知事の祝

の禍と共に何時朝鮮へ飛火するか

の謝と共に何時期鮮へ消火するか。ちに附近の樹庭頭査班に報告する。 【新選州】奉天から大連へと何大 | 単人鮮の乗客に對しては酸重査器 | ら連載で官民、各隊體業列程に提

戊申詔書 發記念日

包装籾共進會

鼻疽病馬を發見

撲、柔叙道試合等を蘇んに行ふる

日平均千餘以といふ物族主で専作|は関係方面蔵を絞つてゐる ら新設は最高一日千五百餘队、毎一株蔵を現出し、これら帰境一時に

ゆるお祭職者の絵具は中止し、相 質問から祭典は簡素厳粛に執行し

神馬の波海は例年添り行ふがいは

「開城】十七日の開城郷酢秋祭仕

は無視を留めた川港に撃きるされ、不足で、どうにも足者さのとれぬしてがはじめが単地方連接的 あげ、かて、加へて船散及び電車 地球に寄めてるるつて水に縦はじめが単地方連接的 あげ、かて、加へて船散及び電車 地球に寄めてるる

開城の秋祭

【唐刊】非議會職業保では職職国

日午前九時半、天谷村春官を帯岡日午前九時半、天谷村春官を帯岡

精力減退の人 神経衰弱の 小兄の築發し 《香芳·明 《香芳·明 《香芳·歌《春·歌》

てきりますから 野女 



秦養知識を得て一日も早く張製を獲得し、非常時局に力を盡すべきです。 今や老者男女を問はす、金國民の一致銃後に魅すべるときです。病衰、歳弱者は須らく正しき

發揮して衰弱を恢復に導きます。殊に**秋**は、体力恢復に絶好の機會であり、强壯劑の一番。こんな場合にポリタミンを連用しますと、よく体蛋白を補ひ、同時に獨特の强壯作用を 補ひがつかず、勢ひ体力恢復の遅々たるを発れません。 が充分行はれませんから、肉類や卵の如き滋養物(蛋白質)だけでは、 思ふやうに体蛋白のが充分行はれませんから、肉類や卵の如き滋養物(蛋白質)だけでは、 思ふやうに体蛋白の て血肉成分たる体蛋白の消耗が甚だしく、そのよ て血肉成分たる体蛋白の消耗が甚だしく、その上食慾や胃腸機能が減退して消化に慢性病の衰弱患者をはじめ、病後・産後・手術後等の患者は、健康者にくらべ

体重の増加 病衰者にとって、体重の増加は

よく効く時ですから、躊躇せずポリタミンを服用さる、様お奬めします。

ポリタミンは、従來の腸壯劑と全 をほざこし、消化の衰へた人にも 桑養價値の大なる牛乳蛋白を原料 然その本質を異にし…… として、これに胃膓と同樣の消化 類なき この内容!

街白アミノ酸の製剤で…… 食慾增進業等 ネルギー源、木ルモン合成素 血液源、筋肉薬、發育薬、エ

容易に吸收されるやうにした消化

すべての有要アミノ酸を濃厚に含

據で、醫家が慢性病の治療に當 つて之を重視するのもそのためです。身体の抵抗力や治病力の強化を示す避

ら、吹錦に肉がついて体重が増加して來ます。 ポリタミンをのみますで、 その主成分アミ た集養源で消化力の衰へた人にも容易に吸収し されて体蛋白の消耗を補ひますか ノ酸は既に蛋白質を消化しつくし

從來この目的にいろ~~の製劑が用ひられてゐますが、最近ポリタミンの非 | 先づ体力が恢復に向ひつ。ある||食慾の如何は、治病上のパロン **機嫌と考へて間違ひはありません。** --ターであつて、食慾が盛んになれば

常に有効なことが、動物質験によつても立證されてゐます。この作用は本剤中

のアミノ酸の胃液分泌作用に因るものです。 15. アミノ酸は叉少量に於ても全身細胞を賦活して、新陳代謝を盛んにする。 アミノ酸は叉少量に於ても全身細胞を賦活して、新陳代謝を盛んにす る作用があり、更に体内ホルモンの作用を増張します。

陸軍藥 局方外使用承認藥 旺盛になり、抵抗力も强くなりますから、体

運増加・食慾促進作用と相俟つて

病弱体質を真に强化します。

それ故 ポリタミンをのみますと、すべての生活機能が盛んになつて、精力が

0 0 大阪市東淀川區場 大阪市東區道 堂々四 D醫學博士の推奨 

製發

造 賣

關東代理店

東京市日本橋區本

頃る甘美味の液劑

大瓶(四周五〇銭) 中瓶(二圓五〇銭) 小瓶(一圓五五銭) 発展姿店にあり

る城と戦を戦つて下さい」と課なる城と戦を戦つて下さい」と課な

### 一部は完繊を完成して主道東土流の四ペドシーへ敗出してのるが、十年前な北岳湖上南から入蘇のの着を彷徨し、敷地へ処地へと収みなき収認の放ま鏡げてある中に、この郵政に増へ乗ねた同梱の扱し、更に増たさり・ペットは二十萬回版に動地の配続を加へ、不その戦地へ関係が往を育じ、生と 不した。恐怖と戦慄の転職を一き起り、日文事機後は巫殿が恵々一朝鮮人は恐怖に戦慄してゐる。ロー ク市郊外を始め終済関系に現職影響を作り、見ると聞くとは全核神差した恐怖と舒振取の生活を観し、L. L. 東月大郎議でられあるを以 WSEC と文化的総務は激動者と認定の機関であるそとの決略環境の計画に乗って入起した観中高の類群人はニュリ るべし、関係にはデ・ベ・ウ立略 に握し朝鮮人の無無的 に金条垣、李得茶の南着はこの揺銃戯の中を駐出し、諸門園蔵春に込れ、彼祭の甕職した所黒ロシ 暴虐蘇聯を脱出して 皇國の土を踏む感激 移住朝鮮農民が死線を突破 恐怖戦慄の内幕を暴露

春殿を興へ 發展 安化的向上の電

が批説された標準で歌頭在住の会。たらら、「関境後観者は観覚せら、思ひまた朝鮮に入って十年の舞踊 を繋じ得ない事人等にまで澎湃の手は延び多数。大半の朝鮮人は『歌琴』を厳粛し、うた製を眺めて主道政治の忠繁な 「黄鷺って行って、村ソヴエツト諸氏、共産憲具」の為め(地正が可能ならば残らく) 秋びつよ牧徒に奉んである楽しさ。 直覚める事の の土を貼み、浦館、浦鮮人が要作を

検り場 に大くに松果を以て」が場像を住に買って、地工養師止

家族全部を監禁し

その上家財も没收

一日間のお祭りを控

十七、八兩日のお祭りを燃へて廟・時訓練を行ぶ事に決定。十五日平・七七、八兩日のお祭りを燃へて廟・時訓練を行ぶ事に決定。十五日平・金市民変通訓練日としてゐたが、、に對してお祭書日の変運に働へ臨

ける京城府民を試験

苦心の結果、十六日を臨時交通 盛を近保安排に聞き、その其機戦。 自機向上して鉄

一館十一時から府内子署保安宝民費

**得、各自が耕土淑女となる。** 何のやりであるが半島首都京城

常の財産家ですが、東南元官養 『六月十三日復僚かに官差が 冷布面に肥布した検及技を止めて今北京に居る相 さんからの手観で 冷方面に肥布した 冷方面に肥布した

石き學徒は翔る

日本學生航空職盟の若き事徒達は一個西地方に於ける操権士の蛇狀所【東京電店】支那事變彩蔵するや一種職の熱情婦へ軽く、最に開発、 この規胞軍官局に於て関軍建修の事項從取譲を提出してるたところ

職大經済基高) 年 中北 隆川(元)

苦悩もこれでやつと数はれた形だ。せず保合つてるること、それに左、歌羽最から無波四年を首便されたお客所振腕を楽してるた殿橋造の(て本窓や着が上りもせず下りも、十五日京被塩方法院で附かれ川下お茶れ、左近の 日日品の一寮岬上りに「たど、何より 名職いのは残さを投っ、にからる機能養死事件の公別はおされ、工業者属の輸資を受けて「栗、三人義・輪輪」小等券、浄戦・教し木将西幾関町二三三日火殿(こかされ、工業者属の輸資を受けて「栗、三人義・輪輪」小等券、浄戦・教し木将西幾関町二三三日火殿(こかされ、工業者属の輸資を受けて「栗、三人義・輪輪」小等券、浄戦・教し木将西幾関町二三三日火殿(こかされ、工業者属の報道を受けて

現れて来た、インフレ級第へに脅 めなべ、精米、大琴、小麥、小豆」と軽級調査の九月中物價報数にも 一一ノーナ、 ものに指導を負

地細な日論から雇人を根棒で殴り 教した府内祭園町一三三田水殿(三

大脚立年、そのお前から家に下つた、ものは砂糖を始 原作人数し匹子のもなりの状を廻って及帯機線を呈 るがもなりの状を廻って及帯機線を呈 るが かったりと至っても傷かはか 流が能ってゐるのは郷い朝朝だけ大脚立年 そのお前から家 に下ったりと言っても傷かはか 流が能ってゐるのは郷い朝朝だけ

護りを強化 國婦を郷軍式に改編

て重く道を垂れてゐるだけ、二人二人の息子はその鹿に漢さへ得べ

来るんだと

罪を洗ふ涙の場面

る銃後の矛盾人職種の第一級に20 龍山信石社に於いて、國防婦人食業が監告といる。

鐵砲擔び延貨物をする前線の兵士―上海所見

ボロタク征伐に 係員を増員

後要に未練

新研究法の登表

から子供でも本がばを翻り見えて却つて整え易いも

保定国軍内官學校を卒業、直ちに

三三、三連単、四角星等太陽群、民生、缺眼治、名人大家の質報離就種得されるのである

**舍**時計

いつを正しい

那人頑張る

在鮮者の四割五分

**盗んでは貯金** 

**暴利に躍る者に** 

精



八三二 ハトリスヌデオ の集禁・ 建深的新列 の集禁・ 建深的新列 の集禁・ 建深的新列 の生態・ という に関ビルニ的 は関ビルニ的 は、 という に関ビルニ的 に対して、 にして、 にして、

飲み易い粉末小児百日晩に

新建士中经期之助 新建士中村 安吉 新建士中村 安吉 新建士中村 安吉 新建士中村 安吉

新年中松 · 新建

御希望の方は去記へ、「東京は大き記へ」という。東受けたし、「東受けたし」 告に限り物に要型にて掲載する場合料金は資料の事件のは資料の事件或確保 の一旦毎に五十五製語字十五字號一回五行一

株式會社 村

筆鉛球地 正直クレヨン 杜魯式 株寶 耶 新福 遊 鉛 類 總 智太大王一(5周本都第一元日了二月本京城市 社會找機器製節鉛本日。 和

脚非口投表は 脚準口投表は 脚準に 大七段加藤旧 地位を 大七段加藤旧

でものでもない。 無法に打つてに延収もない。 はにはメグなれるが、素

新形ではボロメク取締りに乗出しから関連日務件をWei和接口下 桁翼視のため取職の如く京都道「ここで開発性のを接び暗年十一

曾議所から警告 商人根性覺醒を要望



大槌蟾齿耕友會頒

(Co #755mg 東京城ワセタ式速配學研究生募集(2) お茶は本品清元関

新りたし 数明本三1四1 平3山

一一 大學生求學家題教師

三四二〇番 構内一八番 場内一八番の単生を推摩す

**病**專毛。

色 **一** 一色 耳 州 正 練 智 表 神風堂 電光 六四四

医原体士 公 婚 公 與科 醫院

京回祭内

特別拿

